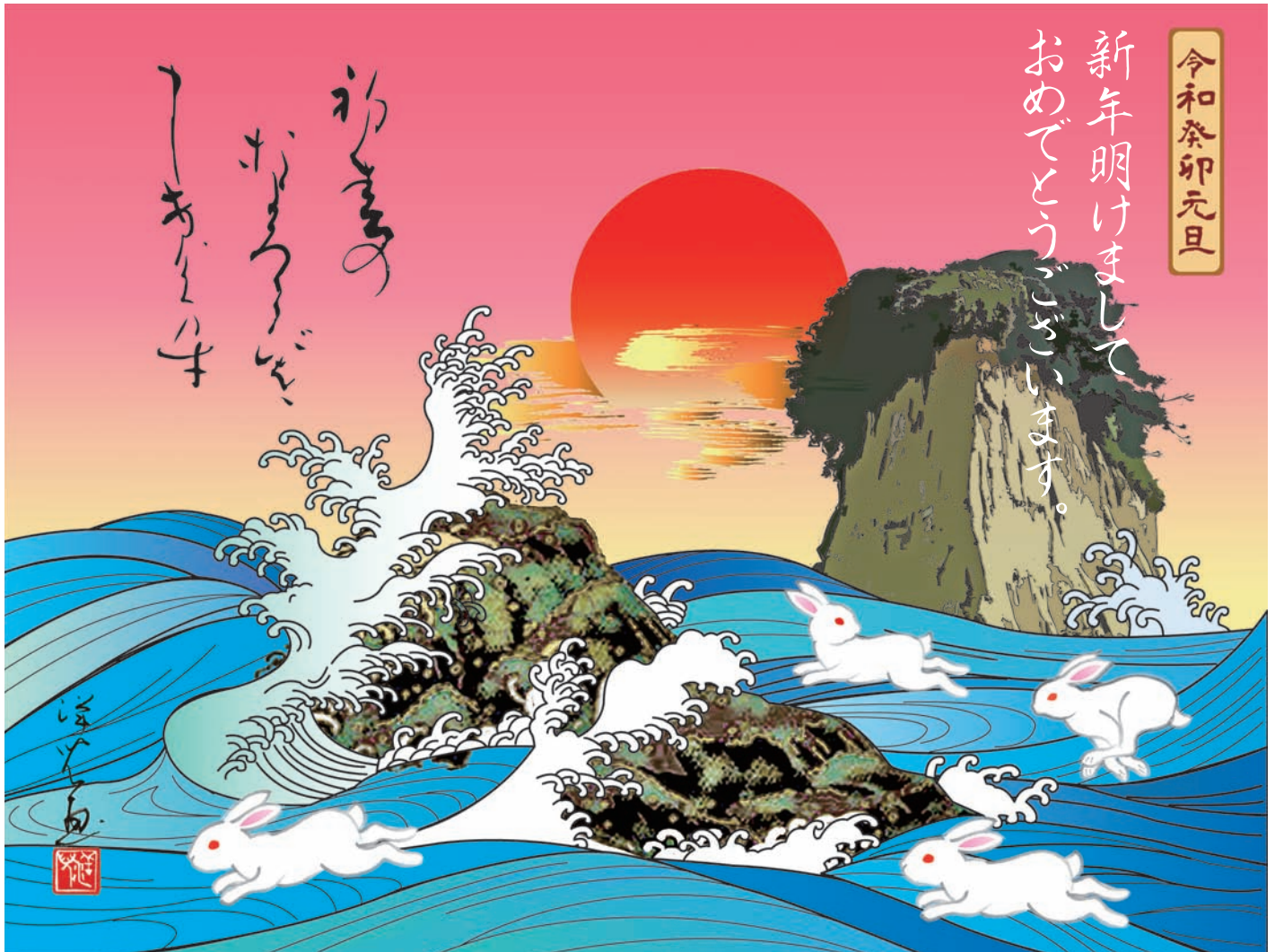


VOL.57 2023.1  
令和5年1月発行

# 東京奥能登応援団だより

東京奥能登応援団事務局  
〒102-0093 千代田区平河町2-6-3  
都道府県会館14階 石川県人会内  
TEL.090-8876-4901



[洋画家:岡崎洋児氏<珠洲市狼煙町>]

## 文化 絢爛

令和5年  
10/14[土]-11/26[日]  
44日間



第38回 国民文化祭  
第23回 全国障害者芸術・文化祭

## いしかわ 文化祭 百万石 2023

### 珠洲焼×【食・酒・文化】

開催日 | 10月14日(土)、15日(日)  
会場 | ラポルトすず

珠洲焼と珠洲の酒・食・アートとの融合により、今の暮らしにあった現代陶の活用を提案するイベントを開催



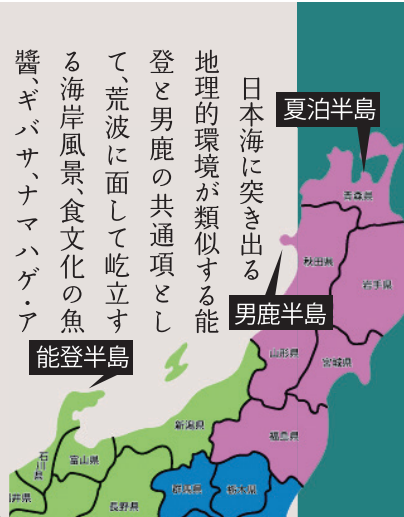
### 能登半島宇出津発祥 伝承娯楽「ごいた」に触れて!

開催日 | 10月28日(土)、29日(日)  
会場 | 能登町立宇出津公民館(コンセルのと)  
能登町宇出津発祥のボードゲーム「ごいた」の全国大会及び初心者向け教室を開催



「東京奥能登応援団のホームページ」アドレスは<http://okunoto.net>です。

# 北前船文化を 覧古考新(その②)



日本海に突き出る地理的環境が類似する能登と男鹿の共通項として、荒波に面して屹立する海岸風景、食文化の魚醬、ギバサ、ナマハゲ・アママハギの来訪神の文化遺産について、前号で北前船の航路で繋がる日本海文化の一端に触れたところです。

## 能登山の椿伝説



1 「来年の秋までにはかならず帰ってくる。おみやげにツバキ油と実をたくさんもってこよう。」男は船乗りで、毎年、栢港から南の国に材木を運んでいた。



2 約束の年から三度目の秋。娘は能登山から毎日海をながめて暮らしていた。寒い冬がやってきても若者はついに帰ってこなかった。



3 恋する船乗りが死んだと思い、娘はあつ雪の寒い日に、能登山から海に身を投げかけてしまった。



4 四年目にやっと帰ることができた彼を待っていたのは悲しい知らせ。彼は悲しみ、能登山にある彼女の墓のまわりにツバキの実をまきながら、このツバキが大きくなくて自分の代わりに墓を守ってくれることを祈った。そして港を出ていき、二度と帰ってこなかった。



5 若者のまいたツバキは毎年花を咲かせ、ついに能登山はツバキの木でおおわれるようになった。心なき村人のなかには、ツバキの花をとったり、移植しようとする者もあったが、その人たちには不幸が訪れるので、だれも能登山のツバキには手をひれなくなった……

イラスト：男鹿市提供

なる男鹿「能登山」の地名にその縁の所以を強く感じるのです。昭和60年男鹿を訪れ半島民俗を調査した珠洲市の郷土史家・西山郷史先生の研究では、「船乗りは能登尼崎の漁師と言われ、現在の志賀町千ノ浦海士崎に相違ない。18世紀後半に執筆された『能登名跡史』によれば、海士崎一帯は椿の名所であった」と根拠付けました。

北前船寄港地に残る「能登人を介した海ゆくツバキ」と評してロマンを語られています。ところで、能登半島外浦海岸の「徳保の千本椿」はご存じでしょうか。珠洲市の市花が椿に制定される根源にもなっています。ウォーキングロード(遊歩道)高屋―狼煙17.7km全行程3時間の沿道に咲き誇っています。スポットは、木浦海岸徳保神社の社叢、馬縹町の本光寺の椿の巨木が必見です。馬縹町では例年「椿まつり」を開催しています。見ごろは3月、奥能登に群生するヤブ椿を是非探訪ください。

### 椿の話でもう一題

10月のある日、男鹿のヤブ椿の一件で、椿の伝播ルートを調べる方途をキリシマツツジ研究の第一人者である島根大学の小林伸雄教授に伺っていたところ、出張先の松江にいた黒澤淳一氏(石川県人会広報委員)から突然電話があり「松江城内に珠洲市から贈られた椿が植っています!松江城内の珠洲市寄贈の藪椿(黒澤淳一氏撮影)」

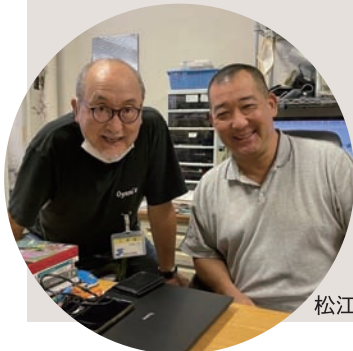


松江城内の珠洲市寄贈の藪椿(黒澤淳一氏撮影)

江と珠洲は姉妹都市:?)。はて、そんな縁がどこで!!。不勉強に恥じ入るばかりでした。珠洲市役所から資料を取り寄せましたのでご紹介いたします。島根県松江市の旧美保関町と『出雲国風土記』の「国引き神話」との結びつきが判明し、須須神社と美保神社の祭神も美穂須須美命であることから、昭和63年3月姉妹都市の調印がなされた。平成31年3月姉妹都市提携30周年記念として珠洲市で「すず椿フェスティバル」が開催され、椿を市の花とする両市が相互に椿の植樹を行うなど交流を祝った。

### ※国引きの神話

出雲国に伝わる神話の一つである。当初、作られた出雲国は「狭布の稚国」、すなわち国の形は東西に細長い布のような小国であったので、遠くの諸国の土地を裂き、四度引き寄せて「狭布の稚国」に縫い合わせて、できた土地が現在の島根半島であるという。その引き寄せられた国のうちの二つが、高志の都都の三崎(珠洲)を出発地として三穂の埼(美保関)に到着し縫い合わせられたという。



松江市島根大学で小林伸雄教授(右)と黒澤氏

## 全国石川県人会 連合会全国大会

11月17日第16回全国石川県人会連合会輪島大会が輪島市で開催された。5年毎に開催されてきた全国大会は、昨年開催予定であったが、コロナ禍が収まらないため今年に持ち越しになったものである。

前田利祐名誉会長ご夫妻以下、全国各地の県人会や関係者、海外からブラジル、ハワイなど5か国の各県人会のメンバー、そして県内の方々が輪島に集合した。約300人の関係者が集った式典は輪



泉谷市長を囲む東京・関西珠洲会メンバー

島文化会館で挙行され、輪島まだら、祭り太鼓で勇壮、盛大に行われた。県人会活動に多大な貢献があった笠原英二東京珠洲会会長、本田ゆり子横浜石川県人会代表世話人、矢黒憲昭中部石川県人会らに県知事からの感謝状が贈呈された。

式典後、サンマリーナに会場を移して行われた懇親会には馳浩知事、泉谷満寿裕珠洲市長、大森凡世能登町長らが参加し、御神乗太鼓の演奏や地酒・郷土料理などを楽しみながらふるさとの方々と旧交を温めた。

## 石川県立 飯田高校 創立百十周年 記念式典

10月23日飯田高等学校体育館において、在校生・職員・同窓生など450人が参加して「創立百十周年記念式典」が開催された。笹谷穂史校長が式辞を述べ、馳浩知事、南方治記念事業実行委員長が挨拶した。西田昭二、近藤和也両代議士、宮下正博県議、泉谷満寿裕珠洲市長が祝辞を贈った。

式典後、前飯田高校同窓会東京支部長の谷辰夫東京理科大名

誉教授が「過去を振り返り今を考える」と題して講演を行い、「Be」あり方「Do」行動「Have」成果」を常に意識し、自分を信じて努力し、失敗を恐れずに行動して欲しいと在校生らに語りかけた。



## 観光物産展(鴻巣市)

10月14日から16日J-R鴻巣駅前前のエルミこうのすショッピングモールにおいて「いしかわ観光物産展」を開催した。

鴻巣市の法要寺が加賀藩の参勤交代の宿舎になった歴史的なご縁に着目して本格的な交流事業を開始した。春の法要寺での

とキリシマツツジと兼六園ヤマモミジの植樹式で面識を得た法要寺檀家役員からの誘致があり実現した。

広告塔の役目を果たす高さ7メートルの大谷キリコを吹き抜けホールに立ち上げて、NOTOモール(笹波・中谷光博代表)が能登の海産物や金沢の銘菓などを販売すると共に石川県、金沢市、白山市の各東京事務所が共同で観光宣伝を行った。

会場のステージでは、佐々木ホコさんや永吉蘭美さんのふるさと歌謡ショーや東京で能登の祭りをやるう会(八木敦成会長)がキリコ太鼓を披露して盛り上げた。キリコ太鼓に誘われて立ち寄った買い物客はキリコを見上げて「重さは?」「何人位で担ぐの?」などと尋ね、乱舞して巡行するキリコ祭の映像に感嘆の声が上がり、「来年夏に祭りを見たい是非能登を訪ねたい」と観光パンフレットを受け取っていた。



## 首都圏のふるさと行事

- 1月11日(水)～15日(日) ▶ いしかわ百万石フェアin大宮駅: JR大宮駅東西自由通路
- 2月17日(金)～19日(日) ▶ いしかわ伝統工芸フェア2023: 東京国際フォーラムB1ロビーギャラリー
- 3月16日(木)～22日(水) ▶ 加賀百万石の味と技展: 東急百貨店たまプラーザ店
- 3月22日(水) ▶ オーケストラ・アンサンブル金沢東京定期公演: サントリーホール

# 能登ふるさと博冬の陣

## 珠洲あんこう祭り

## のと寒ぶりまつり



1月9日(月)：道の駅すずなり

あんこうの吊し切りの実演や、コラーゲンたっぷりのあんこう鍋の販売など、珠洲の自慢の味を満喫できるイベント。カニやカキなど、冬の能登の味覚を楽しめるブースも

1月15日(日)：能登町役場新庁舎横駐車場

新鮮な寒ぶりの振舞い。宇出津港直送鮮魚市を開催するほか、海鮮鍋、海鮮丼など、能登の魚介をふんだんに使った料理を提供するブースが出展

## 輪島あえの風

## 穴水雪中ジャンボかきまつり 2023

冬にしか味わえない感動がある

35th 輪島あえの風 冬まつり2023

2023 2.11<sup>Sat</sup>・2.19<sup>Sun</sup>

W A J I M A A E N O K A Z E



2月11日(土)～2月19日(日)

輪島塗祭 SANGYO交流館(輪島キリコ会館隣)

輪島ごっつお祭 市内飲食店、旅館・民宿

輪島朝市感謝祭(11日)

にぎわい大市(19日)

2月11日(土)・12日(日)：あすなろ広場

まいもんまつり“冬の陣”かきまつりの特別イベントです。総延長400mのジャンボ炭火コーナーで、能登の冬の味覚「カキ」をご賞味ください。

### 事務局から

歳の瀬になりまたコロナが急拡大の様相を見せています。ウィズコロナにギアチェンジをしたつもりですが、活動の全面再開には躊躇せざるを得ません。旅行支援も継続されますので“思い切って”甘えび、カニ、ブリのAKB、おっと忘れちゃいけない、かき、ビーフの能登AKBと称される冬の味覚を求めて帰省しましょうか!

そして、秋には国民文化祭である文化絢爛「いしかわ百万石文化祭 2023」にこそぞって里帰りいたしましょう。

[東京奥能登応援団] 代表/光真 章 副代表/下平 康次

北野多津子さん(小木町)押し絵作品▶

